

2022(令和4)年7月

習志野市男女共同参画社会づくり情報紙

第53号

きら *Kira Kira* きら

特集 世代を超えて楽しもう！
～ スポーツで育む思いやり ～



誰もが、生涯にわたり、健康で安心して暮らすためには、性別や年齢、健康状態など、それぞれが抱える課題を理解し、お互いに配慮しながら暮らしていくこと、つまり思いやりが欠かせません。

今号では、子どもから大人まで、「いつでも・どこでも・だれとでも・いつまでも」楽しめるニュースポーツ“ユニバーサルホッケー”で活躍する実務ファミリーズ取材しました。

いつでも、どこでも、 だれとでも、いつまでも



実糶ファミリーズの皆さん

1983（昭和 58）年、子どもたちが多様な競技に参加できる「実糶少女スポーツクラブ」が発足、1989（平成元）年にユニバーサルホッケーチーム「実糶ファミリーズ」が発足。現在は大人も子どもと一緒に参加できる「実糶ファミリーズ」が継続し活動しています。毎週日曜日に実糶小学校体育館で10代から70代までの25名が元気に活動中！今回は指導もしながら自身もプレーヤーとして参加する山澤誠さん、大石祐也さんにお話を伺いました。



山澤さん（左）大石さん（右）

習志野市発祥のスポーツです

山澤さん 現在は印西市に移転しましたが、かつて市内に順天堂大学がありました。体育学部の齊藤定雄教授がドイツに留学した時に経験した「ユニホック」をアレンジして、市民スポーツ指導員養成講座のカリキュラムのひとつとして導入するのが始まりです。その後受講した指導員が地域住民へ普及していきました。現在市内では5団体が活動しています。実際にやってみたら軽スポーツではないじゃないか！？と思うかもしれませんが（笑）。使う道具も重くないので、お子さんから高齢者の方まで誰でも楽しむことができます。生涯スポーツとして始められる方が多いです。

ユニバーサルホッケーとは

「Universal」という語源の通り、老いも若きも、男女の隔てなく、誰にでも適応するスポーツとして考案されました。

主なルール

チームは男女混合の6人制。女性が3人以上入る必要があります。スティックを使ってパスをつなぎ、ボールをゴールに運びます。コートは高さ20cm程度のフェンスで囲まれていて、フェンスにぶつけてパスするなど、戦略は無量大。

ユニバーサルホッケーとの出会い

山澤さん 仕事のあと夜の7時から9時まで受講していた市民スポーツ指導員養成講座でユニバーサルホッケーを知ったことがきっかけで始めるようになりました。高校時代の体育の授業にあったフィールドホッケーと似ていたのですね。すぐになじむことができました。「運動が苦手」「ぜんそくなどの持病があり運動ができない」といった子どもたちに、ユニバーサルホッケーの活動を通じ、中学校ではいろいろな運動ができるよという信念で、指導を始めたところもあります。

習志野市のスポーツ推進の取り組み

市民スポーツ指導員（習志野市独自）を養成し、生涯にわたって市民のスポーツ活動が充実するよう取り組んでいます。

親子三代で参加しています

大石さん 父・母・妻・息子・私と親子三代で参加しています。息子は幼稚園の時に、私たちがプレーする様子を見て、参加するようになりました。それから一緒に練習に参加するようになり、家族で同じ時間を過ごしています。私自身は、子どものころ最初に野球を始めたのですが、姉がユニバーサルホッケーに参加していたので興味があり参加することに決めました。今は選手として参加しながら、指導もしています。

楽しく続けるための秘訣

大石さん 世代が異なる人が一緒にゲームをするので、危険に思えるかもしれません。しかし、安全に配慮したルールがあるので、誰もが楽しくプレーしています。経験者がおらず、みんなが初めてやるスポーツなので、動き方がわからなくても、ボールがパスされて目の前にきたらそのままシュートを決めることもでき、誰でもチャンスももらえ活躍できると思います。経験者が活躍しがちな他のスポーツとは、そこが違うかなと思います。

山澤さん 運動が苦手だな、いやだなと感じている方々でも気軽に参加できる雰囲気づくりを考えています。練習時間は午後1時から5時ですが、30分だけ参加とか、月2回参加でもいいよと声をかけています。

大石さん 小さな子どもを持つ方でも、練習している間は周りの人がみてるので、全力で楽しむことができます。子どもも人見知りしなくなり、双方にとってとてもいい環境だと思います。上達することももちろん魅力的ですが、こうした世代を超えた交流があるからこそ、一緒に続けることができるのだと思います。

山澤さん 支え合う大人の姿を見て育った子どもたちは、きっと同じように支え合う大人に成長すると期待しています。



大人も子どもも手加減なし！

指導員としての心がけ

山澤さん 指導員として、「ケガしない・させない、無理しない・させない」ということを心がけています。だからこそ、参加している人たちの様子をみながら、ときには「無理しているよ」「大丈夫？」と声掛けをしています。

運動に長けていなくても、走ることが苦手でも得点が取れたら勝てる。続けていくうちにだんだん体力をつけていく。中学生になり、活動の場が学校の部活動になってもついていけるよう、体力をつけてあげたいという思いがあります。そして、大人になったらまた戻ってきて一緒に活動しようと話をしています。

参加している人の声

練習に参加していた桜井さん、星名さん、小林さんにお話を伺いました。

桜井さん 仕事とのメリハリがついてリフレッシュになります。皆、思いやりをもってプレーしてくれまし、ルール上相手プレーヤーにぶつかってはいけないことになっているので、男性や若い人と一緒にプレーしていても怖いと感じることはありません。本当に楽しいです。

星名さん 娘が小学3年生の時に始めました。最初は保護者として付き添っていたのですが、「一緒にやりませんか」と誘われたのがきっかけです。現在は、孫も含めて三代で参加しています。共通の話題があることはいいのですが、勝ち負けを競っているのでは、全然手を抜いてくれません。お互い本気です！

小林さん 大石さんのお兄さんと同じ職場だったこともあり、誘われたことがきっかけではじめ、20年くらい続けています。始めた当時は皆さん年上の人たちばかりでしたが、ボールの扱いやスピードについていけませんでした。若さや体力だけでなく、フェンスを利用してパスをするなど、頭を使うことで、自分らしく戦うことができるのも魅力の一つです。安全なルールだからこそ、年齢を重ねても続けることができます。もっと競技人口が増えたらうれしいですね。



写真左から 小林さん、星名さん、桜井さん

～インタビューを通して～

今回の取材で、競技を通じて、それぞれの違いを認め、互いに配慮しながら活動されている様子がわかりました。家庭や日常生活だけでなく、こうした何気ない一場面でも、男女共同参画の考え方が垣間見えます。年齢や性別にかかわらず、互いを思いやる社会がひろがるといいですね。

取材担当：佐藤委員・宍倉委員

ユニバーサルホッケーにご興味のある方へ

市内で活動している団体は5団体あります。
東習志野ユニホッケークラブ・実糶ファミリーズ・屋敷エンジェルズ・大久保ファミリークラブ・秋津ユニホッケークラブ

◆活動に関するお問い合わせ◆

実糶ファミリーズ 山澤 誠 さん
連絡先：043-272-4332

きらきら★
キーワード 🔍

ジェンダーギャップ指数

ジェンダーギャップ指数は、世界経済フォーラムが、2006年から毎年公表している国ごとの男女の違いにより生じる格差を数値化したものです。教育、健康、経済、政治の4分野において様々な観点から男女平等を評価し、その総合スコアを表しています。

ジェンダーギャップ指数が「低い=男女不平等」だと雇用や賃金の格差、性暴力、虐待などと言った女性に対する差別の問題が発生する恐れがあります。世界で男女平等社会に向けた取り組みが注目され、各国が自国の男女格差の現状を把握し、問題意識を持ち一歩踏み出すきっかけとしてジェンダーギャップ指数は生まれたのです。2021年、日本は **156か国中120位** と先進国の中でも順位が低く、主要7か国(G7)の中で最下位という結果でした。(S委員)

編集委員の
おすすめ図書



戦争は女の顔をしていない 1

(現在3巻まで出版されています)



原作 スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ
監修 速水螺旋人
作画 小梅 けいと
KADOKAWA 発行 2020年

ソ連では第二次世界大戦中、約100万人の女性が看護婦軍医だけでなく、戦闘員として戦っていました。戦後、世間の目を気にして黙して暮らしていた500人以上の従軍女性への聞き取りを行い、戦争の事実を明らかにしました。本作はその女性たちの証言を集めたルポルタージュであるノーベル文学賞受賞作家の原作をコミカライズ(マンガ化)したものです。

刊行されると大きな反響を呼びました。現在においても、戦争で多くの人が避難し、苦しんでいます。いつの時代も民衆は弱者です。この本から女性の声を聞くことで戦争の悲惨さを改めて知ることができます。(高橋委員)

◆上記の本は男女共同参画センターで貸し出ししています◆

図書の貸し出しについて

*市内在住・在勤・在学者対象 *1回5冊まで、期間は2週間

市ホームページ内「情報ライブラリ」を検索し男女共同参画センター図書一覧から本を決定、ちば電子申請サービスまたはお電話でお申込みください。

きらきら編集委員募集中!

「きらきら」は、公募による編集委員と協働で企画・編集を行っています。編集会議は平日の月1回開催。見学は随時可能ですので、ご興味がある方は男女共同参画センターまでご連絡ください。

◆男女共同参画コラム◆

「コロナ禍で強まる女性・若者の生きづらさ」

コロナ禍から2年以上が経過する中、生きづらさの代表的な指標である自殺者数は特に女性・若者が増えています。コロナ禍以前と比較すると「女性」が約3割、「10代・20代の若者」が約2割増加し高止まりしたままです。

要因として、コロナの影響が甚大な飲食・宿泊業で働く6割以上が女性で、その大部分を非正規が占めるという事情が指摘されています。炊き出しや食品配布を行う困窮者現場でも女性の姿が目立ち始め、子連れの母親やカップルの姿も見られるようになりました。悩みを抱える人に寄り添う体制づくりが、より求められているのと同時に、積極的に相談窓口を勧めていくことが必要です。

(仲野委員)

～悩み事の電話相談窓口～

よりそいホットライン 0120-279-338 (つなぐ ささえる)

いのちの電話 0570-783-556 (ナビダイヤル)

女性の生き方相談

*無料 *要予約 *秘密厳守 *市内在住・在勤・在学者対象

◎夫婦のこと ◎家族のこと ◎人間関係のこと ◎自分自身の生き方について ◎これはDV?(ドメスティック・バイオレンス) …など 初めての方も安心してご相談ください。

<面接相談> 女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時: 第1金曜 午後1時30分~3時10分・4時~7時40分

第2・4火曜、第3木曜、第3金曜

1回40分

午前9時~11時40分・午後0時30分~4時10分

場所: サンロード津田沼6階 市民相談室

申込: 習志野市男女共同参画センター(ステップならし)

より良い紙面づくりのため、記事等に関するアンケートを実施しています。皆さんの率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

【回答方法】右記のQRコードから専用メールフォームにアクセスし、各質問項目を回答して「送信」を押してください。



令和4年6月1日から
習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度
が始まりました。

市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、支え合いながら、誰もが大切なパートナー又は家族とともに暮らすことのできるまちの実現を目指します。制度の詳細は市ホームページをご覧ください。

